

02

キャリアステップ

課長補佐

財務省 主税局
参事官室 課長補佐

石井 勇司

- H21.4 国税庁 長官官房 人事課
- H22.7 国税庁 課税部 法人課税課
- H23.7 川口税務署 個人課税部門 国税調査官
- H24.7 米国留学
- H25.7 財務省 主税局 調査課 外国調査第二係長
- H27.7 国税庁 長官官房 総務課 審査企画係長
- H28.7 名古屋国税局 課税第二部 法人課税課 課長補佐
- H29.2 現職

「税」という柱を持った
ゼネラリスト

国際課税：経済はグローバル、課税はローカル

現在私が勤務する財務省主税局参事官室は、国際課税制度の企画立案を所掌しています。税は国の主権の核心であるため、各国が自国の税制をどのように設計するかは、基本的に各国の責任に属すると考えられています。しかし、各国の税制が異なる一方で、個人や企業の経済活動はグローバルに展開されることから、同一の所得に対する二重課税が生じたり、逆にどこの国からも課税されない「二重非課税」が生じてしまいます。近年、多国籍企業による国際的租税回避が世界的に問題となったことを背景に、従来、国際協調の理念が馴染みにくかった国際課税の分野で、各国が協調してこれに対応しようというモメンタ

ムが高まり、G20・OECDによって国際課税ルール整備・再構築が勧告されました。いわゆる「BEPSプロジェクト」です。

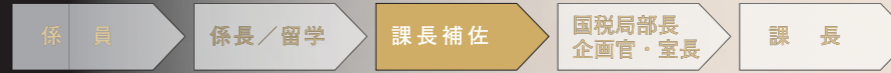
国際課税は奥が深い・・・

BEPSプロジェクトは現在、勧告内容を各国の国際課税制度に反映させていく実施段階に入っています。日本もここ数年、大規模な税制改正を行ってきており、平成30年度税制改正においても、外国企業等の事業活動に対する日本の課税権行使のトリガーに関して大きな見直しを行うところと見えています。

このように、国際的な租税回避には各国が協調して取り組むことが重要になるため、税に関する国際的なスタンダード・セッターであるOECDの議論をリードし、

日本の立場を適切に反映させていくことも、参事官室の重要な仕事です。私自身も年に数回、移転価格税制や租税回避スキーム対策に関するOECDの作業部会に参加しており、難しさも多く感じますが、国際舞台の表・裏で進んでいく合意形成プロセスにリアルタイムで関われるというのは、参事官室勤務の醍醐味の一つだと感じています。

他方、BEPSプロジェクトの勧告に関しては、日本も未対応のメニューがいくつか残っており、これらの検討を進めることも私の重要な仕事の一つです。新米補佐の私には決して容易な仕事ではありませんが、日本の税体系や執行可能性、経済社会の実態あるいは国際社会の動向を踏まえた現実解を見出せるよう、周囲のサポートを得ながら日々格闘しています。



次の世代のために

国税庁 課税部 消費税室
課長補佐（総括）

保井久理子

- H12.4 国税庁 調査査察部 調査課
- H13.7 大阪国税局 調査第二部 国税調査官
- H14.7 旭税務署 個人課税部門 国税調査官

- H15.7 米国留学
- H17.7 国税庁 長官官房 国際業務課 国際協力係長
- H19.7 公正取引委員会事務総局 審査局 企画室 主査
- H21.7 税務大学校 研究部 教授
- H22.1 育児休業
- H23.7 国税庁 長官官房 国際業務課 課長補佐
- H24.7 東京国税不服審判所 国税審判官
- H25.11 育児休業
- H26.7 東京国税局 調査第一部 国際情報第一課長
- H27.7 国税庁 長官官房 会計課 課長補佐（総括）
- H29.7 現職

日本の将来を見据えて

消費税は税収面でも基幹税としての地位を占めており、今後益々その重要性が増していくでしょう。税制にはそれぞれ目的がありますが、それを実現するには様々な課題を乗り越えなくてはなりません。税率引上げ及び軽減税率制度の実施やインボイス制度の導入を控え、消費税の制度・執行に対する信頼を損なわないためにも、適正な執行が求められています。

チャレンジングな世界

消費税は、仕組みはシンプルですが、免税店制度や輸出免税制度を利用した国庫金の詐取ともいえるべき不正還付事案も発

生しており、組織を挙げて厳正に対処する必要があります。また、社会的な問題にもなっている金密輸による輸入消費税のほ脱には、政府一丸となって総合的に対応する必要があります。そして、軽減税率制度については、インボイス制度の導入等も見据えた円滑な実施に向けて、関係省庁、地方公共団体、民間事業者団体など幅広い関係者の参画を得て、周知・広報施策に取り組んでいます。観光立国に向けた施策の一つである免税店制度の拡充など、税制改正事項にも関係省庁と連携して的確に対応しなくてはなりません。

信念をもって進み続ける

この職場では、現状を是とするのではな

く、将来をしっかりと見据えてマネジメントすることが求められます。困難な課題に何とか結果を出していくパワフルな上司の「自分に限界をつくらない」の言葉に育てられました。そして今は子供達の楽しそうにチャレンジし成長する姿から活力をもらっています。国税庁は、自分の時間と情熱を投資するに値するところです。

